

教員活動評価（平成 27 年度実施〔年次評価及び総合評価〕）の評価結果について

平成 28 年 3 月 18 日
教 員 評 価 機 構

○実施の目的

東京農工大学では「大学憲章」に掲げる基本理念を達成するため、教員の業績を多面的かつ適切に評価するとともに学内外への説明責任を果たすこと等を目的として「教員活動評価」を行っており、平成 27 年度は、26 年度実績に基づく「年次評価」と、24～26 年度実績に基づく「総合評価」を実施しました。

実施の目的は、以下の 4 点があげられます。

- ・教育・研究・社会貢献・業務運営など諸活動の活性化を促し、教育・研究の質の向上を図ること。
- ・教育研究の向上を図るための改善システムの一環として活用し、大学運営全体の改善を図ること。
- ・教員の序列化は目的とせず、その業績を多面的かつ適切に評価し、待遇面等に反映させること。
- ・学内及び学外への説明責任を果たすこと。

○実施に当たって

実施に当たって、評価方法や評価項目などを全学的な実施要項等（東京農工大学教員活動評価実施要項、教員活動評価に係る全学共通実施基準）において定めていますが、各部局等が必要とする場合は、部局等の個性及び特色等により、各部局等の実施基準を規定できるよう配慮しています。また、定められた評価項目以外の活動についても、「特記事項」欄を設け、自由に記載できるようにしています。

○実施概要

各教員は、平成 24～26 年度までの 3 年間分の「教育」、「研究」、「社会貢献・国際交流」及び「管理運営」の 4 領域における諸活動の計画（期待指標値）を、「教育研究等計画書」に記載します。

当該年度の活動実績については、翌年度に「教員活動評価報告書（年次評価）」を作成します（平成 27 年度は 3 年分の活動実績を「教員活動評価報告書（総合評価）」として作成）。

部局等の評価者が、「教育研究等計画書」と「教員活動評価報告書（年次評価）」及び「教員活動評価報告書（総合評価）」に基づいて評価を行い、評価結果の内容を教員評価機構において確認し、承認しました。

○評価結果等

1. 評価の実施体制、実施方法

- ・評価は、下記の全部局等において専任の教員を対象に実施されました（外国人教師を含む）。

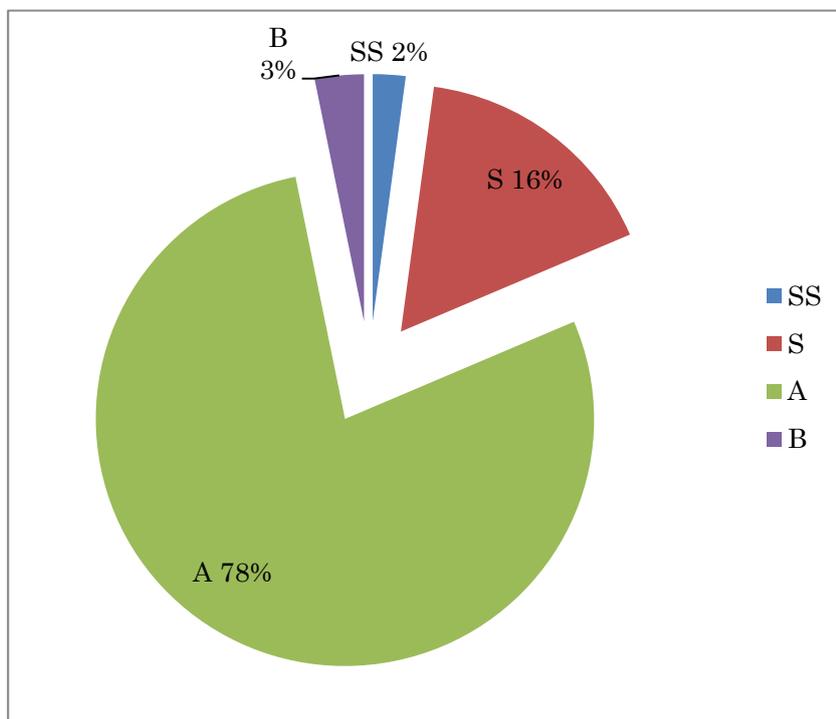
工学府（工学部を含む）、農学府（農学部、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター、農学部附属動物医療センター、農学部附属硬蛋白質利用研究施設を含む）、生物システム応用科学府、連合農学研究科、大学教育センター、先端産学連携研究推進センター、国際センター、保健管理センター、総合情報メディアセンター、学術研究支援総合センター

2. 評価の実施状況

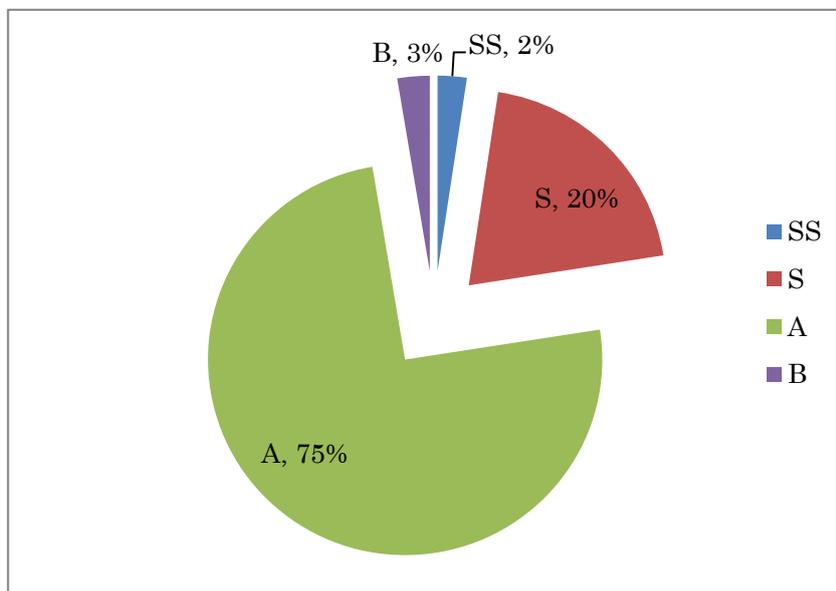
- ・全部局等において、評価対象教員全員の評価を実施しました。

3. 評価結果の概要

・「年次評価」（26年度実績）の評価結果は、下記のとおりです。



・「総合評価」（24～26年度実績）の評価結果は、下記のとおりです。



(参考)

評語	評価基準
SS	期待を大きく上回り、非常に優れた業績をあげている。
S	期待を上回る優れた業績をあげている。
A	期待どおりの業績をあげている。【標準値】
B	一部期待を満たしていない業績がある。
C	期待通りの業績をあげていない。

4. 評価結果の活用状況

- ・評価結果が期待を上回る（SS・S）の者に対するインセンティブ付与等について

全部局等において、勤勉手当の優良者候補とするなど、選定の参考資料として活用されています。

また、総合評価の評価結果が特に優れた者には学長表彰を行う予定です。

- ・評価結果が期待を満たしていない（B）の者に対する部局等の長による面談と助言及びFD研修参加奨励等の実施について

該当者がいる部局等においては、部局長等による面談を行い、具体的に改善方法について助言を行うとともに、FD研修を実施します。

※「教員活動評価」は、平成 18～20 年度実績を対象とした試行を実施し、学内の意見等をもとに更に検討を進め、改善を行った上で 21 年度から本格実施しています。

参考：教員活動評価の案内 http://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/kyouinhyouka/index.html